

平成25年度 指定管理者施設管理評価シート

部 教育委員会事務局 課 児童保育課

施設名称		〔37〕 東京都台東区立千束児童館				
指定管理者の名称		社会福祉法人台東区社会福祉事業団		指定期間	H22. 4. 1 ～ H27. 3. 31	
1. 指定管理者の概要						
(1) 業務内容	台東区の児童及び高齢者福祉の充実による区民福祉の向上を図るため、児童館や高齢者福祉施設の管理・運営を行なう。					
(2) 類似施設の管理実績	児童館7館、15こどもクラブ（平成23年末まで13こどもクラブ）					
(3) 経営状況	（24年度決算ベース）〔社会福祉事業会計〕 収入2,803,323,166円、 支出2,629,524,402円、 収支差額173,798,764円					
2. 施設の概要						
(1) 所在地	台東区千束3-20-6					
(2) 設置目的	児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、情操を豊かにすることを目的とする。					
(3) 利用者	区内在住の幼児から中学校終了までを主たる対象とする。					
(4) 開館日・時間	月曜日から土曜日：午前9：30～午後6：00、日曜日（第三日曜日を除く）：午前9：30～午後6：00一部開放。 休館日 年末年始、祝祭日（5月5日は開放）					
(5) 規模	RC4階建て 3・4階 図書室・遊戯室・図工室・音楽室・こどもクラブ室等 千束保育園併設					
(6) 人員体制	常勤職員3名、短時間職員4名					
3. 事業（サービス提供）の概要						
(1) 委託事業	①児童の福祉を目的とする事業②児童館の利用を通して児童の情操の育成に資する事業③健全な遊びを通して児童の集団的及び個別指導を行なうこと③その他、児童館の目的達成のために必要な事業					
(2) 自主事業	自主事業は行っていない					
4. 予算決算の推移						
		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
予算	委託料	32,081,000	31,176,000	33,041,000	36,064,000	33,196,000
	利用料金収入	0	0	0	0	0
	その他収入	0	0	0	0	0
	管理経費	32,081,000	31,176,000	33,041,000	36,064,000	33,196,000
決算	委託料	32,302,401	31,849,502	34,318,317	30,310,519	31,344,530
	利用料金収入	0	0	0	0	0
	その他収入	0	0	0	0	0
	管理経費	32,302,401	31,849,502	34,318,317	30,310,519	31,344,530
	収支	0	0	0	0	0
5. 施設の稼働状況等（活動指標）						
指標名称		単位	21年度	22年度	23年度	24年度
開館日数		日	333	334	308	334
6. 成果指標						
指標名称		単位	目標値 (26年度)	22年度	23年度	24年度
利用者数		人	31,000	34,858	19,287	28,954

7. 平成24年度評価結果に対する現在までの取組み				
<ul style="list-style-type: none"> 平成23年度の大規模改修工事完了後、24年度も引き続き、根岸・金杉地区への幼児向け出前活動を行い、児童館活動を広めた。 父親参加の子育て支援事業の実施や異年齢の子ども達のニーズに合わせた屋上を含む全館での遊びの提供、行事参加から一人でも日常の利用が出来るように相談にのるなどきめ細かい活動を実施した。 				
8. 評価項目				
		3：協定等の水準を上回っている。 2：協定等の水準どおりである。 1：おおむね協定等の水準だが課題がある。	0：協定等の水準を下回っている。 -：評価対象外項目。	
評価の観点	評価項目			
(1) 事業の運営 平均 [2.1]	(a) 施設の目的達成 (b) サービス水準 (c) 職員配置 (d) 職員研修 (e) 案内・接遇	[2] [2] [2] [2] [2]	(f) 開館時間等の遵守 (g) 自主事業の成果 (h) 個人情報保護 (i) 緊急時対応 (j) 警備・防犯体制	[2] [-] [2] [3] [2]
(2) 施設の維持管理 平均 [2.0]	(a) 建物保守・設備機器点検 (b) 備品の管理 (c) 清掃・衛生管理 (d) 施設の修繕	[2] [2] [2] [2]	(e) 危険箇所等の確認 (f) 管理記録の作成・保存 (g) 業務委託の事前承認 (h) 省エネ・省資源・環境配慮	[2] [2] [2] [2]
(3) 利用者の満足度 平均 [2.2]	(a) 利用者・第三者機関の評価 (b) 苦情・要望への対応と報告 (c) 利用者数の目標達成	[3] [2] [2]	(d) 利用しやすい環境整備 (e) 関係団体・地域との関わり	[2] [2]
(4) 収入支出 平均 [2.0]	(a) 適正な予算執行 (b) 経費削減のための取組み	[2] [2]	(c) 収支計画の達成 (d) 利用料等の徴収・管理	[2] [-]
9. 評価				
S（水準以上）：協定等の水準を満たし、一部に水準を上回る内容がある。 A（適正）：協定等の水準を満たす管理が行われている。 B（一部課題あり）：協定等の水準を満たしているが、一部に課題がある。 C（課題あり）：協定等の水準を満たしているが、課題が複数ある。 D（水準未滿）：協定等の水準を満たしていない。				
評価の観点	評価	説明		
(1) 事業の運営	A	根岸・金杉地域への出前活動や父親参加の幼児プログラム等様々な年齢を対象とした健全育成事業や子育て支援を展開した。また、緊急時対応の避難訓練等を定期的に行い、災害時の備蓄も行っている。		
(2) 施設の維持管理	A	大規模工事完了後、館内のレイアウトの変更等あったため、利用に際しての注意や管理を徹底し、利用者の安全確保に配慮し、施設維持に努めた。		
(3) 利用者の満足度	S	大規模改修時に子ども達の異年齢にあった活動ができる環境整備に努めたため、使いやすく、館内、館外での活動を楽しめており、アンケート結果でも利用者満足度は高い。		
(4) 収入支出	A	職員の異動による人件費や施設移転に伴う水道光熱費（23年度仮移転中は区負担）の増により決算額が昨年度より増加したが、消耗品の一括購入等経費節減、事務の効率化を行った。		
10. 総合評価				
		良好 妥当 要努力 要改善 不適		
		妥当	大規模改修の仮移転期間に根岸、金杉地域へ児童館活動を伝え、改修後も引き続き出前活動を実施した。異年齢の利用者に合った活動や交流を行った結果、利用者満足度は高く、児童健全育成の拠点として新しい児童館活動を積極的に展開した。	
11. 平成25年度評価結果に対する今後の対応				
<ul style="list-style-type: none"> 乳幼児から小学生、中高生までの安心した居場所、安全な遊び場として環境整備に配慮し、利用者の交流を促進する。 可能な限り、利用者のニーズを受け止め、ニーズに合った運営の充実、サービスの向上に努める。 学校を含めた地域との協力関係を推進し、子ども達に関係する様々な関係機関と繋がり、地域の児童健全育成の拠点としての役割を果たして行く。 				